

広報活動と コンテンツ収集

機関リポジトリ新任担当者研修

平成27年2月27日 岡山大学（西日本会場）

広島大学図書学術情報企画グループ

松本 侑子

ymatsu@hiroshima-u.ac.jp

自己紹介

松本 侑子 （まつもと ゆうこ）

広島大学図書学術情報企画グループ グループ員

- H25.04.01 広島大学入職：機関リポジトリ担当
 - 広島大学学術情報リポジトリ運営
 - 広島県共同リポジトリ管理
 - デジタルリポジトリ連合（DRF）企画WG
- H26.04.01 企画調整・出版会担当
 - 地区協会・協議会事務
 - 出版会事務
 - DRF企画WG
 - 機関リポジトリ推進委員会コンテンツWG協力員

お話しすること

1. 広報活動の意義
2. コンテンツの種類
3. 広報・コンテンツ収集戦略

1. 広報活動の意義

広報活動は必要か？

そもそも

「機関リポジトリ」とは？

機関リポジトリ (Institutional Repository, IR)

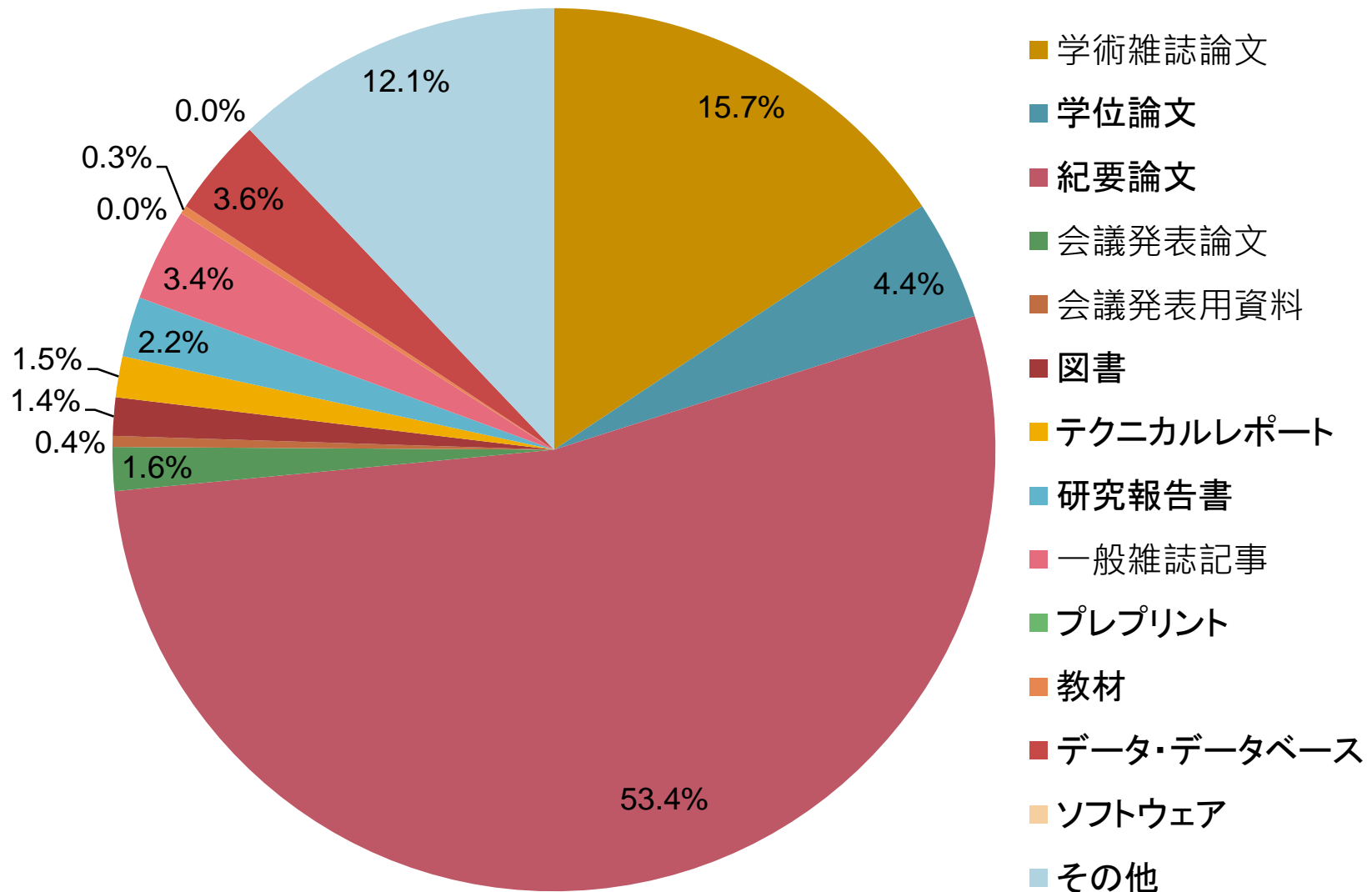
- **Lynchの定義：**
 - 大学とその構成員が創造したデジタル資料の管理や発信を行うために、大学がそのコミュニティの構成員に提供する一連のサービス
- **学内構成員に向けたサービス**
- **コンテンツの供給元は学内構成員（と大学）**

「生きたサービス」であり続けるために

- 知ってもらわないと、始まらない
- 自然に集まれば、苦労も減るはず
- 教員・他部署の協力がなければ、IRは持続しない

2. コンテンツの種類

機関リポジトリのコンテンツ



コンテンツの3タイプ

	個別モノ	一括モノ	義務化モノ
代表的なコンテンツの例	学術雑誌論文、学会発表資料...	紀要論文、科研報告書...	博士論文、(助成研究成果物?)
性格	所属研究者の研究成果	機関としての研究成果	透明性の担保
出自	学外で刊行	大学が刊行	研究者が公表
対象物	そもそも把握しづらい	把握しやすい	把握しなければならない
アタック先	個々の研究者	編集委員会、教授会など	研究者はもちろん、学内関連部署との連携が必要
収録範囲	基本的に著者の原稿。著者の手元にしかない。過去のもはあまり残っていないので、狙いをカレントに絞らざるを得ない	初号から最新号まで組織的に。バックナンバーは刊行元か、あるいは書庫所蔵分のスキャン。あとはアイディア次第	義務化以後。それ以前については個別モノと一括モノに性格が分かれる
コストと効率	主として人的コスト。がんばってがんばってがんばってやっと少し集まる	主としてスキャン経費。電子化の主体的意思をうまく喚起して事業と接続し、作業ベースに落とす	主として人的コスト。学生、教職員への説明や対応が重要
IRの持続性への意義	教員ひとりひとりのIRへの理解と支持は事業継続の土台	いったん開拓できれば安定的なコンテンツ流入ルートに	国等の政策に組み込まれることによるIRの意義の裏付け
収集しやすさ	コンテンツ持ち主との対話、プロモーションが全て		最初にしっかり仕組みを作ることが大事

学術雑誌論文（個別モノ）

過去分

新規分

◆過去分も新規分も著者に直接照会

⇒「何でもください」より「これをください」

- 文献DB、研究業績DB、研究室HP等で文献を探す
- 著作権関連の事前調査をし、
- 登録可能な論文のみ提供依頼
- 教員の手間は、共著者の了解と論文を図書館に送ることだけに
にする

紀要論文（一括モノ）

バックナンバー

新規分

◆著作権＝編集委員会 の場合

- 編集委員会の許諾が得られれば
バックナンバーを一括登録

◆著作権＝著者 の場合

- 著者ひとりひとりに許諾確認
- オプトアウト式一括許諾事例
(異議があったら申し出てね)

◆交渉先：編集委員会

- 投稿規定の改訂を依頼
→IRでの公開を明記
- 印刷仕様書の改訂を依頼
→印刷業者からPDF納品
- 紀要の電子ジャーナル化

著作権委譲の一括許諾例 (オプトアウト方式)

駒澤大学への著作権委譲について

告示

1. 平成14年以前の駒澤大学の各種研究紀要及び各種論集に掲載の論文のいわゆる著作権は、平成20年4月1日以降、駒澤大学に委譲されたものとする。
2. ここでいう著作権とは、具体的には以下の通りとする。
 - ① 本学及び本学が認めた者が当該論文を電子版に掲載・複製するなど学術情報として利用すること
 - ② 本学が当該論文の複製物を公衆送信ないし公に伝達すること
 - ③ 複製物を公衆へ譲渡すること
 - ④ 複製物を公衆へ貸与すること
 - ⑤ これらの行為によって収入が発生する場合には、駒澤大学または学内の学会等の運営費用に充当すること
3. 以上の処置について、平成19年4月1日より平成20年3月31日まで、現在過去の本学専任教職員および兼任教職員ならびにご遺族に対し、文書及びホームページにて周知する。
4. 以上の処置について了承できない方・異議のある方は、この期間内に申し出ること。申し出のない場合は、上記の処置について了承し、著作権を駒澤大学に譲渡したものと扱う。
5. 本公告を知る機会がなかったとの理由で、期限後に申し出た方については、改めて協議に応じる。
6. 連絡先: 駒澤大学図書館(03-3418-9151)、教務部(03-3418-9104)

平成19年4月1日
駒澤大学 学長 池田練太郎

投稿規定の改訂例

(投稿原稿の電子化)

第7条 投稿者は掲載論文が冊子体による出版のほか、電子的に蓄積し、大学ホームページおよび別に定める機関で公開することに許諾を与えるものとする。

2 電子化と公開を許諾しない場合もしくは制限する場合、投稿者は投稿に際しその旨を委員会に申し出るものとする。

3 電子化と公開についての詳細は、「聖学院大学論叢掲載論文の電子化と提供について」に従うものとする。

博士論文（義務化モノ）

H24以前分

H25以降分

◆著作権者に許諾照会

- 同窓会名簿等を元に照会
- 照会作業を業務委託

◆国立国会図書館による大規模デジタル化事業

- 国立国会図書館との共通許諾による著作権処理
- 1991～2000年送付分

◆学位規則改正（平成25年4月1日）

- これ以降に博士学位を授与された場合、博士論文は原則として1年以内にインターネット公表する＝**義務**

学位規則改正のおさらい

論文要旨の公表

- 大学は、授与日から3か月以内に論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表する。

博士論文の公表

- 博士の学位授与者は、授与日から1年以内に、当該博士論文の全文を公表する。
- やむを得ない事由がある場合には、大学等の承認を受けて、当該博士論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表する。
- これらの公表は、大学等の協力を得て、インターネットの利用により行う。

留意事項

- 公表の方法については、学位を授与した大学等の機関リポジトリを原則とする。

<参考> 学位規則の一部を改正する省令の施行等について（通知）．24文科高第937号 平成25年3月11日
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigakuin/detail/1331796.htm

H25以降博士論文収集の課題

平成26年度DRF博士論文勉強会より

- **担当部署（教務系）との連携・分担**
 - 業務フロー
 - 「やむを得ない事由」の対応
 - 内容をどこまで確認するべきか？

H25以降博士論文収集の課題

- **著作権・二重投稿関係**
 - 図書館はどこまで対応すべきか？
 - 著作権処理が難航する場合の対応
 - 投稿先が未定の場合「やむを得ない事由」と判断して良いか？

H25以降博士論文収集の課題

- **学位申請者、指導教員への周知**
 - 「本文の公表は学位被授与者の義務」
 - 著作権の問題を正しく認識しているか？
 - 留学生への案内

H25以降学位論文の収集

- **まずは業務フロー・業務分担を円滑にできるよう
関係各部署と調整を**
- **学位申請者・指導教員への周知をしっかりと！**

参考サイト：

- 文部科学省. 学位規則の一部を改正する省令の施行について.
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigakuin/detail/1331790.htm
- デジタルリポジトリ連合.平成26年度 機関リポジトリ担当者オンライン勉強会「博士論文のインターネット公表」.
<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?onlineworkshop2014>

3. 広報・コンテンツ 収集戦略

広報活動の3段階

- ① 知ってもらう
- ② 出してもらう
- ③ 「集める」から「集まる」へ

※厳密に3つに分かれるわけではない

※「構築後数年経過しているから第1段階は必要ない」は間違い

① 知ってもらおう

千里の道も一歩から

知ってもらう

知ってもらわないと、始まらない。

- 構築前：大学経営者や研究者に
 - 構築後：研究者に
-
- IRとは何か？
 - IRの意義は？
 - 登録できるコンテンツは？
 - どんな魅力があるか？

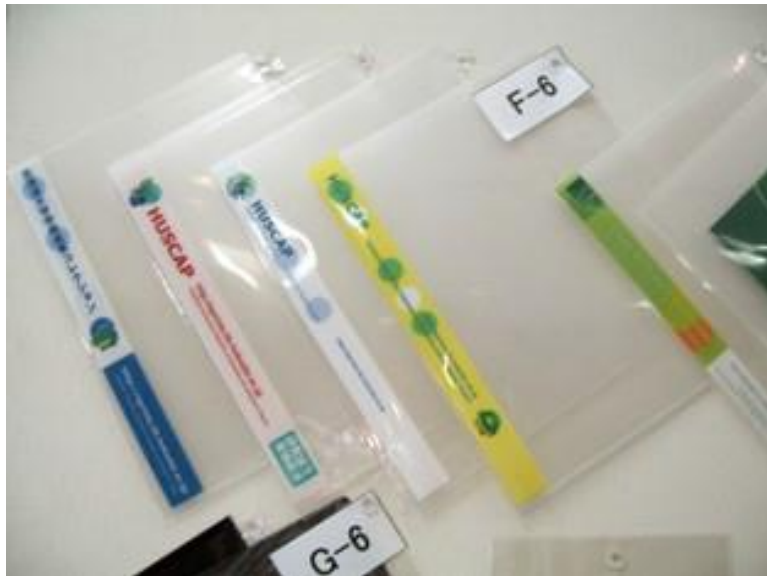
実践事例

まずはとにかく名前を売る

- 名称：リポジトリ？コレクション？アーカイブ？
- 愛称：「紅」「Kernel」「SWAN」「TeaPot」.....
- キャラクター：OUKAちゃん、フクロン.....
- グッズ：クリアファイル、ふせん、メモ帳、消しゴム、返却期限票、しおり、デスクトップ壁紙.....

グッズ

クリアファイル



第1回DRFワークショップ 広報グッズコンペティション. デジタルリポジトリ連合 (DRF)
平成18～19年の活動と今後の展望, p.22

<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?plugin=attach&refer=Digital%20Repository%20Federation&openfile=DRFreport.pdf>

実践事例

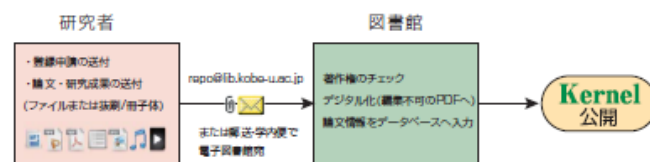
どんなものか知ってもらおう

- パンフレット、ポスター
- 説明会（出張も）、イベント
- メールや学内文書
- ホームページ、Facebook、Twitter（IR、図書館、大学...）
- ブログ

パンフレット・ポスター

登録について

登録から公開まで



登録できる資料

- 学術雑誌掲載論文、紀要論文、博士学位論文、図書、データベース、教材、ソフトウェア、その他公開可能な教育・研究成果。

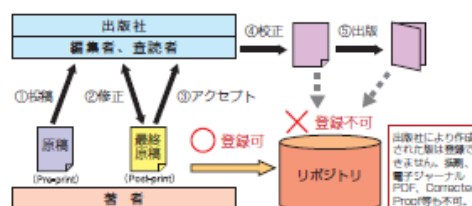
登録できる人

- 神戸大学に在籍、又は在籍した教職員（非常勤職員を含む）。
- 神戸大学大学院博士課程（前期課程を除く）に在籍、又は在籍した大学院生及び研究生。
- その他、附属図書館長が認めた者。

著作権に関する留意点

- 雑誌などに掲載された論文のリポジトリでの公開条件は、発行元である出版社・学会によって異なります。発行元の公開条件は図書館が調査します。
- 海外の学術出版社の多くは、著者自身による著者最終原稿型の一般公開を許可しています。
- 共著者がいらっしゃる場合は事前にそれぞれの許諾を得てください。

著者最終原稿とは



資料送付先・問合せ先

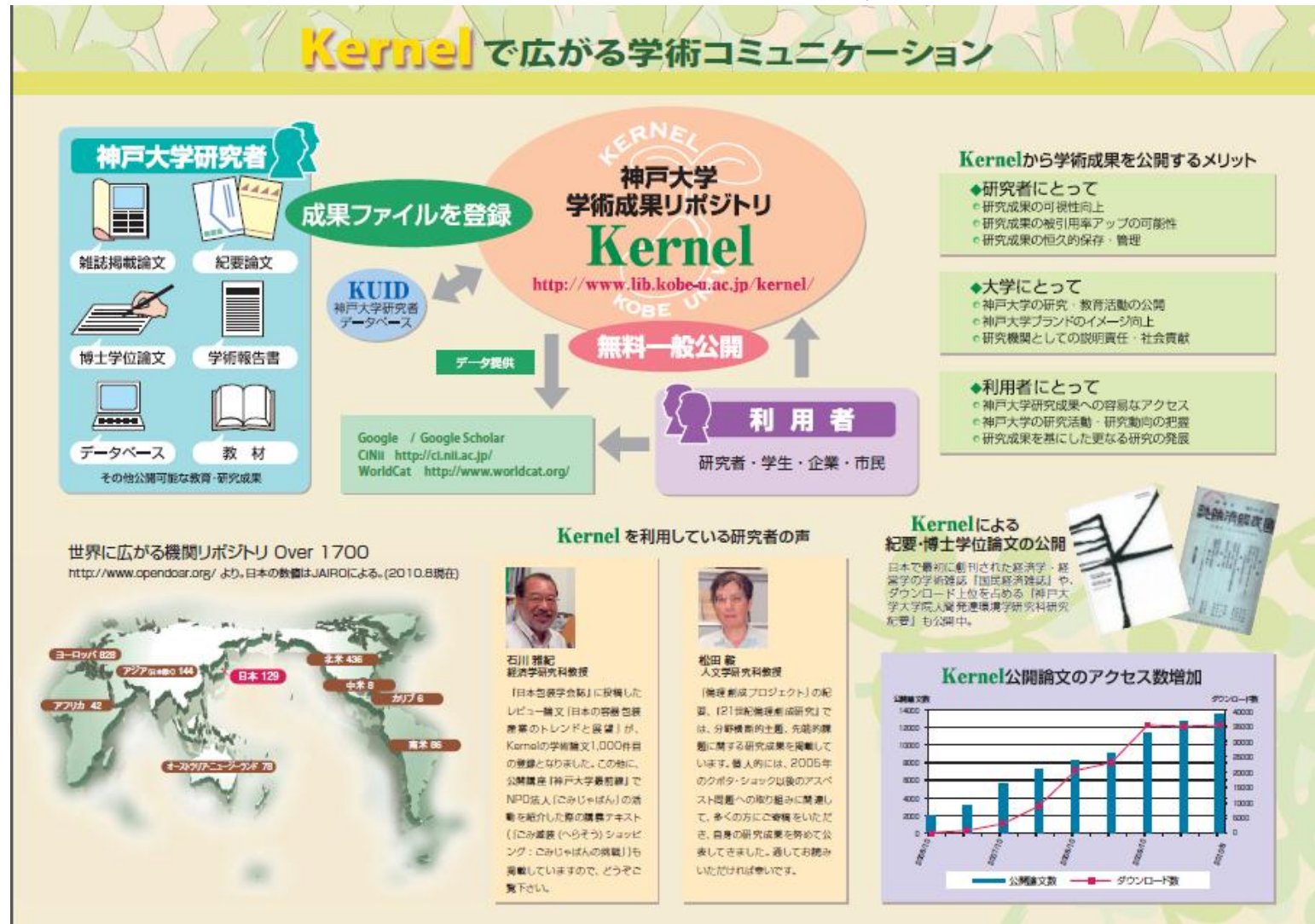
657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学附属図書館 電子図書館係 (社会科学系図書館内)
TEL:078-803-7333 FAX:078-803-7336 email:repo@lib.kobe-u.ac.jp <http://www.lib.kobe-u.ac.jp/kernel/>



Kernel紹介パンフレット. 2010.10版. 神戸大学学術成果リポジトリ.

<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/kernel/about.html#04>

パンフレット・ポスター



Kernel紹介パンフレット、2010.10版、神戸大学学術成果リポジトリ。
<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/kernel/about.html#04>

パンフレット・ポスター



Twitter


一橋大学附属図書館
 @hito_lib

ツイート
2,571

フォロー
10

フォロワー
1,445


一橋大学附属図書館 @hito_lib · 2月24日
 [HERMES-IR] カンボジアのドル化：主要論
 点と政策展望 dlvr.it/8jGynC
 ← ↻ ★ 1 ...


一橋大学附属図書館 @hito_lib · 2月20日
 [HERMES-IR] グローバル市民社会と援助効果：CSO/NGOのアドボカ
 シーと規範づくり dlvr.it/8dr7t1
 ← ↻ ★ ...


一橋大学附属図書館 @hito_lib · 2月19日
 [お知らせ] 入学試験実施に伴う開館時間変更及び休館のお知らせ（2月24
 日～26日, 3月11日～12日） dlvr.it/8dSFPG
 ← ↻ ★ ...


一橋大学附属図書館 @hito_lib · 2月19日
 [HERMES-IR] 国際起業成功の秘密を探る：

※H27年3月よりリポジトリ専用アカウント（@hito_lib_ir）へ移行

Facebook



千葉大学 アカデミック・リンク・センター

21時間前 · 🌐

【CURATOR更新情報】

千葉大学学術機関リポジトリ「CURATOR」にて、『千葉医学雑誌』90巻6号を公開しました。

CURATORでは本学学内学会紀要掲載論文を無料でご自由にご覧いただけますので、ぜひご利用ください。

●千葉医学雑誌... [もっと見る](#)

千葉大学学術成果リポジトリ 学内紀要【医学雑誌】

千葉大学学術成果リポジトリは、千葉大学内で生産された電子的な知的生産物を蓄積、保存し、学内外に公開するための発信拠点です> <meta name=

MITIZANE.LL.CHIBA-U.JP | 作成: 千葉大学附属図書館

いいね! · コメントする · シェア · 👍 2



千葉大学 アカデミック・リンク・センター

昨日 20:11 · 🌐

本学前期入試日程のため、附属図書館は下記の日程を終日休館といたします。

【本館（西蔵）】2月25日（水）

ブログ



東京歯科大学 学術機関リポジトリ
IRUCAA TDC
Institutional Resources for Unique Collection and Academic Archives at Tokyo Dental College

Google™ カスタム検索

検索

東京歯科大学 | 図書館

- 1 2 3 4 5.. 次の10件>>

2015年02月09日

●Stress distribution in the mini-screw and alveolar bone during orthodontic treatment: a finite element study analysis.

いるかです。

J Orthod. 2014 Dec;41(4):275-84. doi:
 10.1179/1465313314Y.00000000098. Epub 2014 May 8.
 Stress distribution in the mini-screw and alveolar bone during
 orthodontic treatment: a finite element study analysis.
 Kuroda S

<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/24812100>

黒田先生よりご提供いただきました。

[http://www.maneyonline.com/page/authors
 /copyrightandpermissions](http://www.maneyonline.com/page/authors/copyrightandpermissions)

検索

検索



ウェブ



記事

カテゴリ

トピック(63)

著作権調査(16)

エンバーゴ中(7)

登録不可(9)

公開中(266)

出張報告(25)

過去ログ

2015年02月(1)

2014年08月(1)

2013年10月(1)

2013年05月(3)

2013年03月(4)

2013年02月(7)

2013年01月(7)

2012年12月(8)

2012年11月(1)

2012年10月(8)

2012年09月(10)

2012年08月(1)

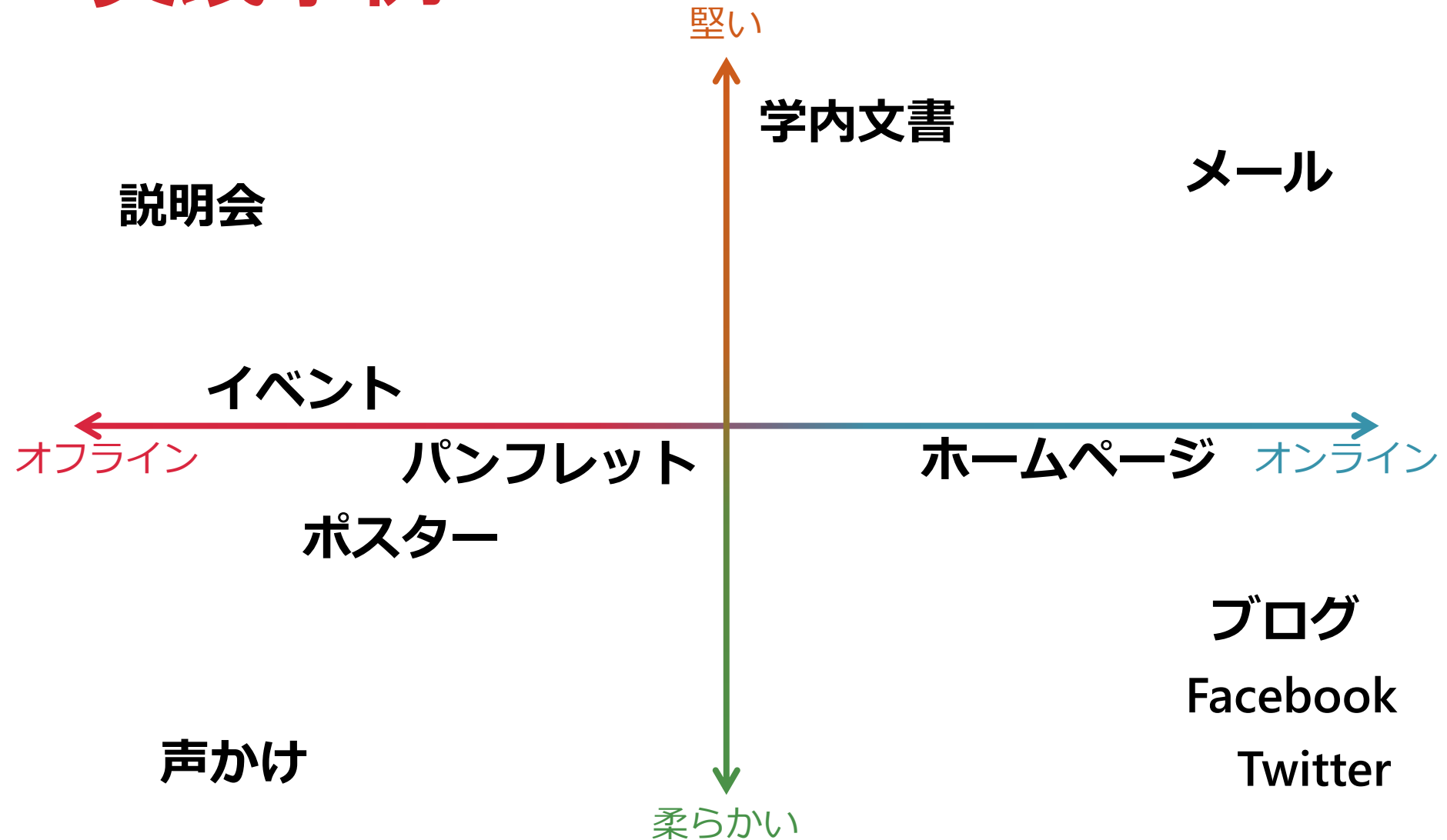
2012年07月(4)

2012年06月(2)

いるか飼育日記 (東京歯科大学)

<http://irucaa.seesaa.net/>

実践事例



実践事例

話題性をねらう

- ・ **タイムリーな話題の関連論文**

（ノーベル賞等受賞論文・関連論文、ニュース関連、大学Webページとの連携.....）

- ・ **オープンアクセス・ウィーク**

例年10月に1週間開催。年ごとにテーマを決め、オープンアクセスの意義を周知する世界的なイベント。

DRFオープンアクセスウィーク特設ページ. <http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?oaw2014>

国際オープンアクセスウィーク（SPARC運営）. <http://openaccessweek.org/>

オープンアクセス・ウィーク

東北学院大学



奈良女子大学

オープンアクセス・ウィーク

鳥取大学



鹿児島大学

② 出してもらおう

百聞は一見に如かず

出してもらおう

- まずは1件登録してもらおう
- すぐに登録する！
- フィードバック
- 気に入ってもらえたら常連さんになってくれるかも

「何でもください」より「これをください」

実践例

各種DBからアタック

- 文献DB、研究業績DB、KAKEN等、各種DBから論文を探す
- 著作権関連の事前調査をし、
- 登録可能な論文のみ提供依頼
- 共著者の了解を得ていただく

実践例

話題の論文にアタック

- ニュースや大学Webページ等に取りあげられている話題の研究成果
- 関連論文を探し、著作権関係の事前調査をし
..... (以下略)
- 「活き」のいううちに！

IRcuresILL

学術情報資源共有のための図書館間文献デリバリーサービスを 機関リポジトリ構築によって代替するための教員・図書館連携方式の開発

- ILLで需要の高い文献をIRに搭載し無償提供することにより、顕在的・潜在的要求に応える
- [http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?](http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?IRcuresILL)

[IRcuresILL](http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?IRcuresILL)



IRもILLも文献提供サービス

- 「IRに載ればうちの先生の論文が無料で誰でも見れるのに、載っていなければILLで1枚35円も取るの？」
- ILLで依頼がきた自機関の論文をIRに搭載する
= 無料ILL

IRcuresILLはIR・ILL双方が嬉しいはず。

「ILLは必要不可欠なサービスでありながら、自館で調達できればそれに越したことはないという意味でセカンドベストなサービス」

(永井一樹. 特集 機関リポジトリとILLの恋する関係 1. オープンアクセスと図書館 : IRcuresILLプロジェクト報告書. p.3, http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?plugin=attach&refer=IRcuresILL&openfile=IRcuresILL_project_report_JP.pdf)

- **ILLは読者のニーズをダイレクトに拾える**
- **IRは文献が誰でも・無料で手に入る**

⇒必要な人に必要な文献を届けることができる！

③ 「集める」から 「集まる」へ

IRのファンを増やそう！

「集める」から「集まる」へ

コンテンツ収集は、大変。

(担当者が頑張らなくても) 自然と集まってくれ
るととても嬉しい。

- 自動で集まるような仕組みをつくる
- IRの「常連さん」を増やす

自動で集まる仕組みをつくる

他部署との連携が重要

- 広くアンテナを張る
- 営業！！
 - お互いのメリットになることを強調
 - 人脈がものを言う

実践例

- **業績データベース（研究系・人事系）との連携**
 - 教員が研究業績を登録するついでに、本文ももらっちゃう
- **外部資金関係との連携**
 - 申請時から布石をうって研究成果をもらえるようにしておく

実践例

- URAとの連携

- まずは存在を知ってもらう
- 外部資金、学内助成等、助成金関係
- 口コミ
- その他
 - 論文への英文抄録付与支援：学内刊行紀要への英文抄録付与義務化。ただしIRに搭載する場合は英訳・英文校正費を助成する。（広島大学）

実践例

- 広報との連携
 - 大学Webページ等で取り上げられる話題の関連論文をIRに搭載、そのURIを大学Webページ等に追記してもらう

「常連さん」を増やす

顧客のメリットを訴える！—誰のためのIRか？

- OA = 研究成果を研究者の手に。

—灰色文献（報告書など）へのアクセス向上

- 保存 = 研究成果を失わないために。
- 公開 = 研究成果をより多くの人へ。

（ついでに）機関としての情報公開

実践例

「常連さん」を増やす

⇒IRは便利で素晴らしいものだと知ってもらう

- **研究者インタビュー：事前準備をしっかりと！**
- **研究室訪問：きっかけは何でも。顔をつなぐ。**
- **ニュースレター**

個別コンタクト

研究者インタビュー、研究室訪問

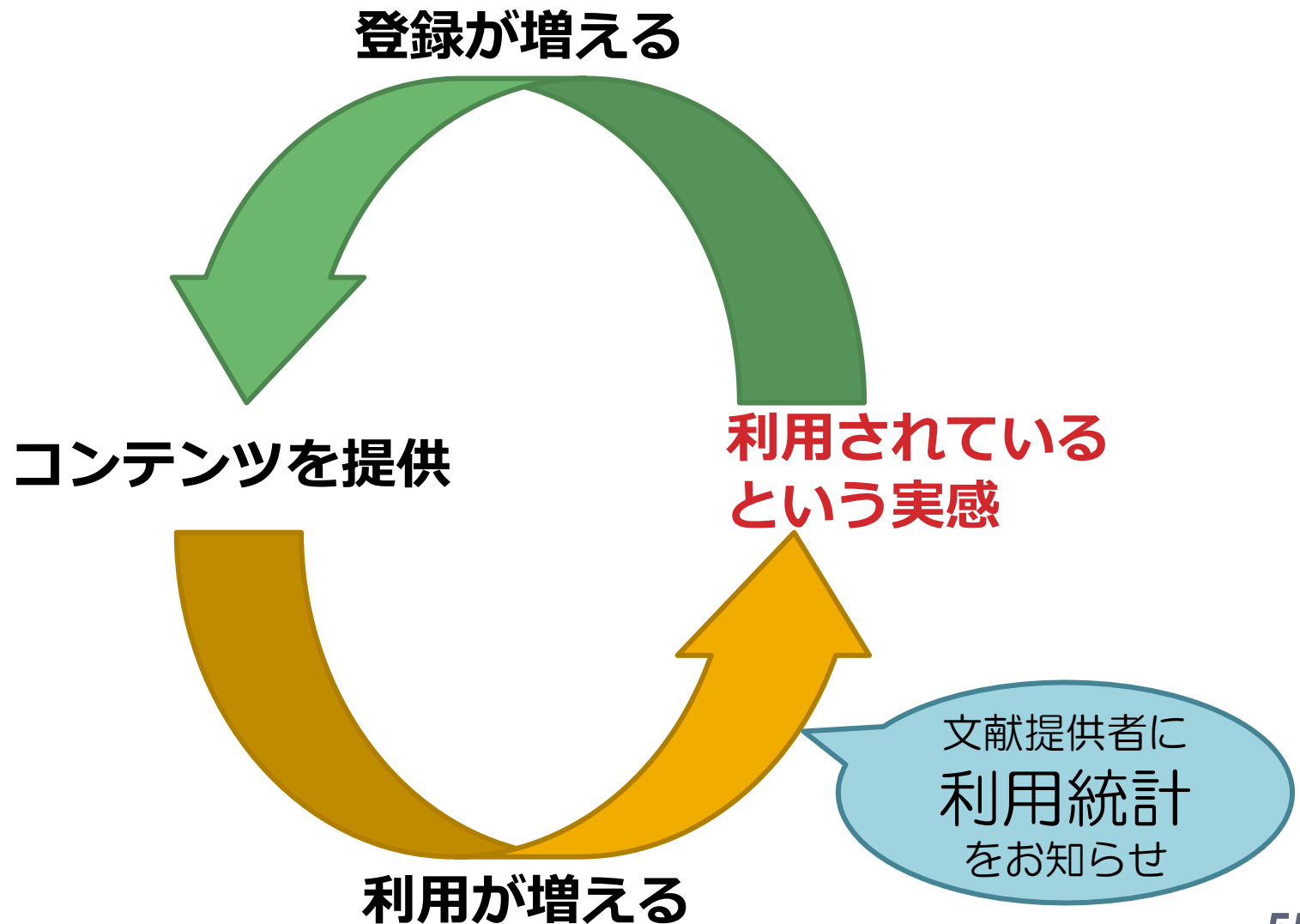
- 「いいとも作戦」（北海道大学）
- 「食堂で鶏を捕まえる」（兵庫教育大学）
- 全員に聞く！（帯広畜産大学）
- **予備知識**（相手の研究内容、その分野の主な出版社ポリシー、...）
- **質疑応答**（DRF Wiki > 実務のための関連資料 > 質疑応答・FAQなど

<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?Documents>)

実践例

- ランキング、利用状況のお知らせ（フィードバック）
- 日頃の信頼関係がとても大事
 - 問合せにはすぐに返信

フィードバック



広報の魅力

「図書館」では開かなかった扉が、「リポジトリ」なら開くかも！

- ・ いままで会話しなかった先生と会話する
- ・ 他部署との連携

可能性は無限大！



まとめ

- **自然と集まるコンテンツ**
 - コンテンツ収集のライン化と
研究者への絶えざる意識喚起活動
- **継続できる学内体制、学内理解の構築**
 - **「大学の活動」**としての位置づけを！
- **ついでに...図書館活動の広がり**
 - 「商機」は図書館の外に

おわりに

本当に大事なのは、学術情報流通の健全化。

最終的にリポジトリ搭載に至らずとも、OAについて少しでも意識してもらえたら成功...かな？

大学図書館のトレンドは一周まわって「リポジトリ」？！

電子図書館→I R→学修支援→研究支援

I Rがある
じゃないか！